

# 宗教法人 出雲心友教会 「35周年祭」を開催いたします

出雲心友教会は、おかげさまで宗教法人となりまして来年で35年となります。また、平成14年に建立いたしました新本殿も、節目となります5年目を迎えます。この記念すべき年を皆様とともに祝うべく、来年4月に「35周年祭」を開催することといたしました。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

宗教法人 出雲心友教会「35周年祭」

日時 平成19年4月8日(日曜日) 午後5時開宴

場所 新宿京王プラザホテル『エミネンス』

なお、詳細につきましては、後日あらためてご案内を発送する予定です。なにとぞよろしくお願い申し上げます。



第 3 8 6 号

昭和44年6月1日創刊  
平成18年10月8日発行  
発行所及責任者  
川崎市多摩区東生田4-17-1  
電話番号 044-976-0708  
郵便番号 214-0031  
宗教法人出雲心友教会  
編集兼発行人 佐藤武彦  
毎月8日1回発行  
1部150円(送料共)  
年間購読料1,800円

## 生命

大神様から与えられた命を、どう生くべきかは、己自身の心ひとつであり、上べだけではなく、頭でっかちでもなく、生かされている自分自身を知り、己の非力を知りながら、「謙虚」「感謝」「奉仕」「報恩」に心のこもった行ないをしてゆく様、心がけねばならないと、反省をこめて思います。

積尊に次の様な逸話があります。

ある時の事です。

修業中に盲目となった阿那律が、針に糸を通そうととても苦労していました。普通の人でも難しいのに、目が見えないのですから、なかなかうまくはゆきません。

その時、阿那律の耳に、自分の横を通る足音が聞こえました。

そこで、気軽に頼んでも「どうか、この針に糸を通していただけないでしょうか。」すると、その人は、「ああ、よしよし。」と、快く答えました。

その声を聞いて阿那律は驚きました。師の積尊だったのです。「これは勿体ないことです。知らなかったとはいえ……」消えいる程、恐縮している阿那律に、糸を通してやりながら積尊は言いました。「阿那律よ、私だつてよりよい功德を積みたいのだよ。心配などしてくるな。功德を積ませてもらって、ありがとう。」

積尊と言えば、最高の功德を積まれているはず。ところが、積尊はそう言うて心底お礼を言われたそうです。

生、老、病、死、人生には様々な曲折があります。「大神様」は、私たちの毎日の生活や、仕事の中で起こる苦労、これをどの様な心で受け止めるか、そして、どの様に乗り切る努力をするのかを、ご覧になっています。

他力本願ではなく、自ら

が如何に克服して、病氣や苦しみと戦うか、更に悲しみや困難な事に立ち向うかなど、全ての悪条件下にあつても不平不満を洩らさずひたすら「大神様」を信じて、逞しく生き続けてゆけるか、師は、「少なくとも人間に出来ない事を、大神様が説かれている事は一つもない。もし、出来ないとしたら、自己の努力不足か神の教えをどこかで間違つて受けとつているのだ」と説かれております。

あの吉田松陰も『志』と題して、「今日という日は二度と来ない。この生命は繰り返す事はないのだ。」とおっしゃっております。

「こうして生かされておられます事を心より感謝申し上げます。お役に立てる人間としてお使い下さい。」

会長先生が毎朝のおまじりの後で、大神様におっしゃる言葉です。

その一番大切な筈の『生かされている事の有難さ』を忘れがちなのは、私達人間であるが故の過ちのはじめなのでしょうか。

お金があつても、名声が高くて、人間である以上、その命だけは、自分でどうする事も出来ません。人の死を目の前にする度に思います事は『生き方』の問題です。

生殺与奪の権は、言うまでもなく、神のみが、お持ちになるのであつて、死は一生を通しての『徳と罪』との総決算の時であろうと思います。

生かされている事に感謝した次には、神様はもろろん、家族をはじめ縁ある人の為に奉仕の生活をさせて預ける様、心から日々のおまいりをさせて頂きたいと思ひます。

最近、悲しい事件、事故が頻発しています。

特に子供などの弱者が、数多く犠牲になつて居る様に思えてなりません。

先程も申しましたが、本当に命だけは親子兄弟が、いくら自分がかわつてやりたいと思つても叶わないのです。与えられた命を明日に向つて躍動させる所に、永遠の命が残つてゆくのだと思ひます。

### 尊福公の布教活動

千家尊福公は、出雲大社を『記紀』神話から始めて禁裡（皇居、宮中）との関係を読み、並の神話とはいかに違うかという認識を徹底させるために貢献した重要な人物です。

尊福は、文部大臣井上毅の求めに応じて、「一月一日」の歌詞をつくりました。この歌は終戦まで小学校において、元旦には必ず歌われた有名な歌でした。

明治二十六年八月に官報において公布され、以後、拝賀式などで歌われることになりました。

尊福は旧派の歌人であつて、実に多才でした。

しかし、尊福が命がけでかかわったのは、歌づくりよりも神道と政治でした。

伊藤博文の勧めに従い、出雲大社の大宮司の職を弟にゆづつて官界に進出。

神道管長から大教院、元老院議員、文部省普通学務局長などを経て、東京府知事や司法大臣を務め、政治家として活躍しました。

明治の初めに大教院が設

置された時の事です。

明治政府は祭政一致をかけた、神祇官を再興しました。これが、明治四年（一八七一）には神祇省と改称され、明治五年（一八七二）には、教部省となりました。

教部省では神社と寺院に関する行政と宣教活動を行なうことになり、まず国民の教化にあたるための「教導職」が設けられました。

この教導職は、神官と僧侶から選ばれることになりましたが、実地の教化にあたる前に、しっかり学習をして、それなりの知識、教養を身につけさせておかねばなりません。

そこで教導職の養成機関として、大教院が設置されました。

初め、大教院は麹町にあり、後に増上寺に移されました。

次第に僧侶たちは、大教院から別れていくことになりましたが、そういう動きをきつかけとして、神道内部においては「祭神」をめぐる論争が巻き起こりました。

大教院の祭神は、  
天御中主神、高皇産靈神、

神皇産靈神、天照大神の四柱と決められていました。

千家尊福は、この四柱に大國主大神を加えて五柱とすべきだと主張しました。

大國主大神は、今さら言うまでもなく出雲大社の祭神です。

本居宣長や平田篤胤の流をくむ神道家および学者は、この意見にもちろん賛成でした。

しかし、伊勢神宮の大宮司である田中頼庸を中心とする伊勢派は、尊福の主張を容れようとはしませんでした。

千家尊福は、執拗に論陣を張り、四度までも提議をおこないました。

そのため、日本中の神社は、出雲派と伊勢派のグループに真二つに分かれて、対立する形となり、論争は蜿蜒と続けられ、容易に決着がつきませんでした。

副島種臣や大隈重信が取調委員に選ばれましたが、結論は得られませんでした。明治十四年（一八八二）の一月、天皇の勅裁による

こととなり、残念ながら尊福は、遂に敗北するに至り

ました。

しかし、尊福の繰り広げた神道論は、堂々たるものであり、彼なりに教義を体系化していることを示して、単なる思いつきなどでは決してありませんでした。

そして、神道そのものの理論を深めることに役立つと同時に、出雲大社と出雲神道の存在をより広く日本中に認識させることになりました。

江戸時代に御師（神社に、祈願する時に仲介をする祈禱師の称）たちの活躍によって、出雲大社の信仰団体が各地につくられていきま

した。尊福は、まず「出雲大社敬神講」を結成し、これを「出雲大社教会」と改めて教部省から認可を受けました。

そして自ら、一介の行者の姿となって、衆庶を教化して、大社教の組織をつくる為に、日本各地を巡回して歩きました。

尊福のねばり強い布教活動によって、今の出雲大社教が存在しているのです。

大自然の恵みを活かして住まう 省エネ 活性化住宅  
 太陽で24時間床暖房 **ハイブリッドソーラーハウス**  
 奥様の冷え性、ご主人のストレスを解消、喘息やアトピー症状を緩和、お年寄りのヒートショックを防止、上下温度差のない大空間（全館床暖房）エネルギー削減など、人、水、土、空気、食品、他全ての物質に作用して、白蟻、ダニ、ゴキブリなどの害虫が来ない素晴らしい環境効果を生みます。  
 下記住所に当社モデルハウスが有りますので、是非見学、体験して下さい。  
 〒221-0076 横浜市神奈川区白幡町6-10  
 TEL045-401-0549 FAX045-401-2085  
 E-mail:myhands@d3.dion.ne.jp  
 代表取締役 金子文雄  
 出雲心友会 横浜支部会員  
**My Hands 有限会社白幡工務店**

楽しい出逢いが待っています。  
  
 双眼鏡・天体望遠鏡・顕微鏡はビクセン  
 http://www.vixen.co.jp  
 TELESOPES・BINOCULARS・MICROSCOPES・MAGNIFIERS・COMPASSES  
 〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3  
 TEL:(042)944-4000(代)  
 FAX:(042)944-4045  
**株式会社 ビクセン**

和服・お手入れ、きものことなら何でもお電話下さい。  
 都内・横浜・熱海・大宮・幕張・湯河原の  
 展示会にご案内いたします  
**呉服のぎんわ**  
 練馬区関町北1-15-11  
**TEL 03-3928-5298**  
 八雲支部 渡邊



江戸前上種 本まぐろ  
**銀寿司**  
 営業時間 昼 12:00~1:30 火曜休み  
 夜 5:00~9:00  
 東京都墨田区京島3-18-19  
**TEL 03(3611)8322**  
 永代支部 長谷川  
 下町にお出かけの際は、是非お立ち寄り下さい。

正一位中子稲荷  
**いなり茶屋**  
 ~法事会席3,500円より承っております~  
 水曜日定休  
 営業時間 午前11時~午後3時  
 午後6時~午後10時  
 群馬県北群馬郡伊香保町509-3  
 天田 信良・典子  
**TEL.0279-72-4465**



### 皆様の心友会だより

昭和四十四年六月一日に「心友会だより」の第一号が創刊されてから三十七年の月日が流れました。

昭和四十三年三月十八日に「出雲心友教会」に名称を改めてから一年以上経って、念願の第一号が発行されたのですが「心友会だより」は、真実の信仰に歩む人たちの集まりである「出雲心友教会」をより一層理解して頂く為に存在しております。

そこで今回は、初心にかえて「真実の信仰」にふれてみようと思います。

従来の既成宗教は、俗に「新興宗教」と呼ばれているものが多く、慣習行事にのみ流されたり、御利益信仰に走りがちです。

神とは、大宇宙で唯一、全知全能であり、目に見えない形のないもので、しかも無限なるものです。

そして、それは決して私たち人間と別個の存在のものではなく、親子の関係の様に、一つにつながるものであります。

なぜならば、私たち人間の魂（＝気・あるいは心）は、形のないものであり、目には見えず、肉体のどこに存在しているかもわからないのですが、人間一人一人が必ずもっているものなのです。

それは、人間が神の分霊わけたまを授けられている神の子であるからに他なりません。わかりやすく申し上げると私たちが人間の魂の親が神であるということです。

故に、人は自分の心に神を見たりして、信仰的自覚を感じていくのです。

世間には、独立自尊、あるいは自分の理性のみを信じ、自己の判断と行動のみが人生そのものであって、魂をも否定し、神の存在までも否定して生きておられる方もいらっしゃいます。人間の理性の限界を経験から感じている方は多いと思います。

だからといって、理性を決して否定している訳ではありません。なぜなら理性と心とは、人間の肉体と精神とを分けて考えることが

できないのと同じ様に、切り離せないものなのです。

私たちが、魂の親である神を敬うと同時に感謝し、懺悔ざんげしつつ、一歩でも近づく努力をする毎日の生活こそ、真の信仰だと思えます。

信仰とは、くだい様ですが、決して死後の安楽を願ったりすることではなく、まして、人生に負けた人達の逃避場では決してないのです。

信仰を持つということは、とめどもつきない生命の源泉を自分自身が心の中に持つことであり、その源泉からわき出てくる水が、日々を生きぬく活力となり、他に働き出す愛になり、結局は、お役に立てる人間として生きようとする活力の根源となるのです。

もちろん報いを求めないでやったことに対しては、神がお手振りして下さると思えますし、何よりも自分のお徳になると思えます。

真の信仰は、神に対して自分の真心をどれだけ素直に、純粋にぶつけられるかだと思えます。

「心友会だより」が、地

方の方々や、なかなかお会い出来ない方々の為の話合いの場となり、この紙面が、信者の皆様の体験談・御意見あるいは御感想であふれることを願っております。

自分のちっぽけな体験談であっても、意見であっても、本当に困っている人にとっては「光」となることは多々あるものです。

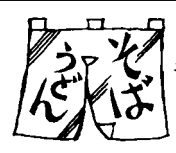
皆様どうか、「心の友達」が集まっている「出雲心友教会」を盛り上げる為にも「心友会だより」を豊かに育て、成長させることにご協力下さい。

それは、きっと神のみにそった道だと信じております。

最後になりましたが、この紙面を支えてきた皆様方に感謝申し上げますと共に、これからも永久に続く皆様の「心友会だより」を末永くよろしくお願い申し上げます。

そして「心友会だより」が「心」と「心」を交流させる場となる事を強く念願致します。

ご商談、ご宴会、各種会合にご利用下さい。



**生油 翁庵**

新宿区神楽坂 1-10  
TEL 03 (3260) 2715

日立チェーンストール  
ソーニー製品取扱店

東京電力認定優秀電気工事店

**榊原電機株式会社**

中野区沼袋 1-2-12  
TEL 03-3387-6351(代)



油のことなら何でもご相談下さい。  
食用油脂・食品・調味料  
石油製品・化学製品

**カナダ株式会社**

本社 東京都台東区浅草1丁目34番9号  
〒111 TEL03-3861-1311(代)  
営業所 大阪、名古屋、仙台、福岡  
http://www.abura-ya.com/  
http://www.abura-ya.com/realshop/realshop.html

**人間ドック**

疾病の早期発見・早期治療から予防  
そして健康生活のアドバイスまで!!

1日ドック・1泊2日ドック

◆資料無料送呈◆

医療法人社団 **同友会**

理事長 高谷 雅史  
東京都文京区西片 1-15-10  
TEL. 03-3816-5840

**ボリューム満点 “おいしいラーメンの店”**

ラーメン・ギョーザ・シューマイ・定食各種

**らーめんはうす**

川崎市多摩区登戸3142 TEL044-911-8351

鳥と卵のご用命は当店へ



**宮川食鳥鶏卵株式会社**

東京都中央区築地 1-4-7  
電話 03 (3541) 0164・0177・0370  
FAX 03 (3541) 0164

### 社務所からのお願い

やっと秋らしくなってきました。いりました。

皆様方から毎年頂いておられます年会費及び管理料が未納の方がおりましたら、お参りの際、社務所までお申し出下さい。

また、郵便局への振込もご利用下さいませ。

○年会費 (月間五百円) 年間六千円

○祖霊社祖霊壇の管理料 年間五千円

○出雲祖霊廟の管理料 年間五千円

口座番号は、左記の通り  
〇〇二九〇一七―三三八一二

\*お手数ですが、通信欄に年会費・管理料の区別を明記して下さい。

### 大祭の奉賛金と

#### 御初穂料について

いよいよ、秋季例大祭が近づいてまいりました。

大祭の度毎に、信者の皆様方にご協力して頂いておりますものに奉賛金があります。この奉賛金は、大祭を執り行なう為に必要な諸経費を賄う運営資金として

役立たせて頂いておりますので、よろしくご了承下さいませ。(大祭の準備費用とお考え下さい。)

また、大祭の当日(代参の方は前日まで)に御神前にお供えする感謝のしるしとしての御初穂料があります。この御初穂は、日頃から大神様に御守護して頂いている感謝の気持ちを形に表わす意味のものです。(直接、御神前にお供えします。)

古い会員の方々には今更改めて申し上げる迄もない事で、誠に失礼とは存じましたが、新しい会員の方々より質問がありましたので、この際(当初ご奉賛を

お願いしてより三十年以上経過しておりますので、新しい信者さん方には、その目的とか意義の違いがわかりにくいのではないかとおぼやかりましたので)その趣旨の違いを改めてご説明させて頂きました様な次第でございます。

何卒右、ご理解の上、ご協賛賜ります様、今後共よろしくお願い致します。

### 八の日の月並祭にお詣り致しますよう

月並祭は、大神様の日頃の御加護に感謝する御祭です。自分の損得を抜きにして本当に感謝のお詣りをさせて頂く良い機会です。

『家で自分の大国様にお祈りしているからいいです』とか言い訳しないで、出来るだけ本殿にお詣り下さい。

八の日は月に三回あります。せめて一日ぐらいは、自分自身で日を決めてお詣り下さいませ。

特に総代の方、支部長の方、初心に返って、あの頃の生き生きとした、燃える様な気持を思い出して、お詣り下さい。

また、その後、勉強会をさせて頂き、大神様についてのお話を会長先生がして下さいませ。その他、皆様方の体験談や質問などごやかな雰囲気の中で、ディスカッション形式で座談会をしておりますので、是非ご参加下さい。

皆様の真心のお詣りを、大神様は手を広げてお待ち下さっていますので…

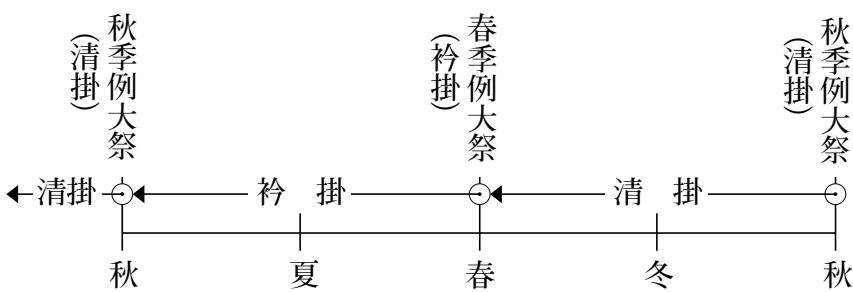
### 清掛と衿掛について

清掛と衿掛の着用の時期について、まだはつきりおわかりにならない方がいらっしゃると思いますので、確認させて頂きます。

詳細は、左記の通りです。

☆秋季例大祭当日より翌年の春季例大祭の前日まで  
清掛の着用(冬季)

☆春季例大祭当日より同年の秋季例大祭の前日まで  
衿掛の着用(夏季)



### お知らせ

出雲心友教会も、IP電話に加入致しました。電話番号は、050-3386-2284です。尚、IP電話同志は、通話料が一切かからないそうです。(無料です) IP電話に加入されている方は、電話番号をお知らせ下さい。(登録して下さい) ※今までの044-976-0708でも通話出来ます。

### 心友会コーナー

●心友会だより布教キャンペーン  
心友会だよりを年間千八百円(二部につき)でおわけします。親戚の方や、知人の方にお渡しください。

●会長先生のご著書でございます  
会長先生のご著書、「日本の心 神道入門」(再版)、「霊のめぐみ 霊のさわり」神霊の奇跡、「神のこころ・霊のめぐみ」全て、末広会にて販売しております。在庫に限りがございますので、お早めにお求め下さい。

●不明な点等ございましたら  
〇四四(九七六)〇七〇八 佐藤まで

### 末広会コーナー

●各種贈答品承ります。  
多少に拘らず、お気軽にご用命下さい。

●冠婚葬祭用カタログございます。  
自由に選べるカタログカテゴリー。予算別には、贈答品文庫カタログ。是非ご利用下さいませ。詳しくはお電話にて。

●他にも多数商品がございます  
お問い合わせ、資料請求は、  
〇四四(九七六)二八八二まで

発想をアクティブに、伝える情報を伝わる情報に、マルチカルチュラル時代のコミュニケーションサービスを提供しています。

スレシース  
〒108-0072 東京都港区白金1-25-20  
Tel: 03-3444-7111(代) Fax: 03-3442-0775  
E-mail: mail@sureshis.co.jp  
Homepage: http://www.sureshis.com



編集部より

佐藤武彦

いつも『心友会だより』をお読みいただきまして誠に有難うございます。

これからも信者の皆様と共に紙面を作って行きたいと思っております、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、政界では安倍晋三内閣総理大臣を中心に新政府が発足しました。

国民が安心して住める日本にして頂きたいと願っております。

その一方では、飲酒運転や駐車違反などの規制強化も進んできてはおりますがまだまだ考える余地はあると思っております。

実際に飲酒事故は後をたちません。ここまでくると言われている様に意識改革をする以外ありません。

日本人の気質というか、風習というかわかりませんが、良きにつけ悪しきにつけ『喉元過ぐれば熱さを忘る』や『人の噂も七十五日』などに代表される様に、すぐに忘れてしまうとと言う事

が言えると思えます。

あんなに大騒ぎしたオウム事件も凶悪事件続発に話題の中心をゆずり、忘れていた(困った事ですが…)人が多かったと思えます。

しかし、歴史もまた、これの繰り返しです。

『天災は忘れたころにやってくる』のです。そういった時に『困った時の神だのみ』ではダメなのです。

理の面では『備えあれば憂いなし』でありたいものですが、真の面では、しっかりと信託された神様を信じたいと思えます。

本来の信仰は『自分の心の中』に存在する内面的なものを中心であると思えます。『確固たる、信仰に対する信念』を持っていればまさに『鬼に金棒』です。

会長が常におっしゃっている「有限な人間のちっぽけな脳で考えたところで、高が知れている。無限なる唯一絶対の神のみが全てを裁き、お手振り下さる。」というお言葉は、これこそが『真理』であると私は強く思えます。

人が人を裁く時、間違い

が生ずる事もあります。過去の冤罪事件を例に揚げるまでもなく、時としてこういう事も起こります。

しかし、冤罪によって死刑になった方、あるいは、その家族達は単なる『間違』では済みません。

こう言った時、もし『信仰』を持っていたら、少しは事態が変わっていたかもしれませぬ。

なぜなら、私達の信仰している大国主大神は『真心に答えてくれる神様』だからです。

色々な御祈願も、先祖供養、あるいは因縁切りも、土地霊のお祓いも、自分と神が『一対一』で真心の霊波を交流させる事でお聞き届けて下さいます。

一気に解決とは行きませんが、一枚一枚まるで薄紙をはがす様に、少しずつ良い方向にお導き下さるのであります。

こんな有難い御神徳をお持ちの大国主大神が私達の御守護神として、それぞれの家をお守り下さっているのです。

毎日の朝拝、夕拝はもち

ろんですが、その時も決してマンネリにならない様、朝は『やる気(気力)』を頂くおまいり、夜は『感謝と反省』のおまいりを心かけて下さい。

出雲心友教会の三十五周年祭も四月八日に決まりました。先程も申し上げましたが、神々の司であられる大国主大神は『真心に答えてくれる神様』です。ですから『報いを求めない感謝のおまいり』を一番お喜びになります。どうか、この良い機会に皆様方が一人でも多くおまいり下さいまして、出雲心友教会の三十五周年祭を盛大に執り行いたいと思えます。

これからは出雲心友教会は、一歩一歩着実に発展して行く事と思えます。

私も微力ながら大神様のお役に立てる様、精進してまいる所存でございます。

信者の皆様方におかれましては、日々感謝を忘れずに益々発展されます様、心よりお祈り申し上げます。

これから出雲心友教会共々、『心友会だより』を

原稿募集中

編集部では、皆様からの原稿をお待ちしています。

行事に参列された感想文、不思議な霊体験、身近に起こった感激の出来事など、その他、御意見・御感想など、どんな小さな事でも結構です。

また、詩や短歌、俳句などもお送り下さい。

皆様からのお便りを心よりお待ちしております。

皆様の力で、心友会だよりの紙面を楽しく、内容を豊富にしてゆきましよう。

是非、御協力下さい。

みたま祭だより

九月

篠原家 天野家 指田家

木村家 滝本家 谷口家

染野家 宮崎家 加藤家

熊野家 大久保家 林家

後藤家 向井家 横尾家

小松崎家

以上の家々の御供養を御奉仕申し上げます。



広告募集のお知らせ

心友会だよりでは、皆様からの広告を募集致しております。

費用は、年間契約で三万円(月三千円)からとなっております。

会社、店舗などの宣伝に最適です。

不況の今だからこそ、心友会だよりに掲載してみたいかがでしょうか。

尚、お申し込みは、編集部の佐藤までお願い申し上げます。

☎〇四四一九七六〇七〇八

お願い

いつも心友会だよりをご愛読頂きまして、誠に有難うございます。この心友会だよりは、皆様方の会報として発行させて頂いており

ますが、移転などによって戻ってきてしまうものもありますので、移転などによって住所が変わる方、住居表示が変わった方は、お早めに社務所までご連絡下さいます様、お願いいたします。

十月～十二月の行事予定

十月	四日(水)	みたまま祭	正午
	五日(木)	年祭	正午
	二十二日(日)	総代会	四時
	二十九日(日)	秋季例大祭	正午
		閉扉祭	三時
十一月	四日(土)	みたまま祭	正午
	五日(日)	年祭	正午
	十二日(日)	総代会	四時
	十三日(月)	七五三詣	
	三十日(木)	神迎祭	
十二月	四日(月)	みたまま祭	正午
	五日(火)	年祭	正午
	十日(日)	総代会	正午
	十八日(月)	合同慰霊祭	二時
		餅つき	九時
	二十四日(日)	大祓祭	二時
	三十日(土)	おたきあげ	
	三十一日(日)	除夜祭	

チャリティーコンサート

七五三詣りは、十一月十三日(月)の予定ですが、三日(金)・八日(水)にもお受け致します。御参列希望の方々は電話にてお申込み下さい。

十月二十九日(日) 秋季例大祭 正午

春と秋の年二回行われる最も大きな御祭です。正面の御扉が開き、大神様からの波長を直接お受けになれますので、万障お練り合わせの上、是非おまいり下さい。

尚、御祭終了後には、各支部の有志によります模擬店が出ます。

また、バザーも行ないますので、ご自宅に眠っているもので、皆様に喜んで頂ける物がございましたら、直接お持ち下さるか、出雲心友教会までお送り下さいませ。(お手数ですが、必ずバザー用品と明記の上、十月八日必着でお願い申し上げます。)

十月二十九日(日) 閉扉祭 午後三時

例大祭で閉扉した御扉を感謝の念を込めてお閉めする御祭です。この閉扉祭をもって秋季例大祭が無事終了ということになります。

大祭の玉串拝礼について

いよいよ秋季例大祭が近づいてまいりました。御祭の度に、玉串拝礼をして頂いておりますが、大祭など多数の方がおまいりにみえる御祭では、全員が拝礼した場合、時間がかかり過ぎてしまいます。

そこで、略式の拝礼として、拝殿の左右に大榎が用意してございます。そこに拝殿にて紙垂を受け取り、心を込めて結んでください。

本来は、一人一人に玉串拝礼をして頂くべきではありませんが、前述の通りでございますので、ご理解の上忘れずに略式の拝礼をお願い申し上げます。

十一月十二日(日)・二十日(日) 年祭(感謝祭) 正午

その月に祀られた方々が、一年に一回、御加護して頂いた感謝の気持ちを大らかに御奉告申し上げる御祭です。出欠は往復ハガキにて確認させて頂きますので、必ず御返送下さい。直会まで、参加しましょう。

また、祀られた月に都合がつかず、今月出席を希望される方は、日程を確認の上、必ず電話連絡されてからお参り下さいませ。

尚、御神体と清掛をお忘れなくお持ち下さい。

十一月四日(土)・五日(日)・十二日(月)・五日(火) みたまま祭(祖霊社)

十時・十一時・一時半・二時半・三時半にお仕えさせて頂きます。各月(その月)に命日を迎えられる方々の御供養をさせて頂きますので、日程をご確認の上、お早めにお申し込み下さい。

また、お申し込みの方が多数いらっしゃいますので別の月の方や三柱(三人)以上の御供養を希望される方は、日程を別におとり致しますので、社務所までお申し込み下さいませ。

十一月三十日(木)～十二月一日(金) 神迎祭

旧暦の十月十日(今年は十一月三十日)の夜、出雲の稲佐の浜に於て、厳肅に執り行われる御祭です。参拝ご希望の方はお早めに社務所までお申し込み下さいませ。

尚、代参(お一人様三千元以上)も受け付けておりますので、参拝出来ない方は、是非お申し込み下さいませ。

編集後記

☆暑さ寒さも彼岸までと申しますが、本当に肌寒い季節となってきました。☆早いもので、今月の二十九日(日)には、秋季例大祭が本殿でございます。☆正面の御祭が開き、大神様から直接波長をお受けになれるチャンスです。☆日頃の御加護に感謝して万障お練り合わせの上、是非おまいり下さい。☆また、バザーもございまして、ご協力お願い申し上げます。

心友会ホームページのお知らせ

メールをお持ちの方は、アドレスの登録を行いたと思いますので、下記の心友会のメールアドレスに件名「登録」にて住所・氏名・電話番号を送信お願い申し上げます。心友会のURLは <http://www.shinyukai.or.jp> です。また、ホームページ等へのご意見感想もお送り下さい。

喪葬

☆九月九日に、さいたま市本太にお住まいの、本橋あさ子様の御主人、重信様が、八十才で帰幽されました。

本橋家の御遺族の方々は、慎んでお悔やみ申し上げますと共に、みたまま様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。